

# ●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。

# 木材利用推進担当

↓これが僕です



## 農林水産部 森林・林業経営課 木材利用推進班 技師 河原 賢

入庁3年目

### ○木材利用推進業務とは？

三重県産の木材を利用すれば、それだけ三重県の森林が元気になります。計画的に木を切って、利用し、新たに苗木を植えることで豊かな森林を維持できます。このようなサイクルを保つためには、私たちが積極的に木を利用することが重要です。

このため木材利用推進班では、三重県産材の利用促進に向けて、以下のような業務を行っています。

- ・三重県産材のPR活動等、利用促進に関する業務
- ・三重県内の建築物の木造・木質化に関する業務
- ・三重県産材の輸出促進に関する業務
- ・木質バイオマスの利用に関する業務

### ○現在の仕事のメリットは？

木材利用の業務は、メーカーや製造業、建築士の現場の第一線で活躍されている方々とお話しをする機会が多いため、木材利用の現状や課題を生々の声を聴きながら勉強することができます。

また私達行政は、直接物を作ることはできなくても、物を作る人達をサポートすることができます。木材利用に携わる人達をサポートする仕事、つまり三重県産材をPRする仕事は、森林の適切な管理につながる業務として、私達にしか出来ない仕事だと思っています。

### ○具体的にはどんな仕事をしてるの？

三重県産材のPR活動等、利用促進に関する業務の一つとして、「三重の『木づかい宣言』事業者登録制度」を担当しています。「木づかい宣言」とは、三重県産材を積極的に利用しPRしていただける事業者を県が登録し、登録事業者の木づかいに関する情報発信等を行うなど、事業者の取組をバックアップする制度です。

その他には、建築士向け木造建築設計セミナーや、木材利用関連イベントの開催、首都圏等都市部への三重県産材PR活動といった業務を担当しています。

### ○受験を考えている人にメッセージ！

新規採用者は、就職してから新しく学ぶ人がほとんどです。専門の仕事を学ぶための研修や、県職員としての一般社会マナーを学ぶ研修等、定期的に幅広い研修が開催されます。また、新規採用職員には、教育係として先輩が1名以上つきますので、分からないことがあったらすぐ聞くことができる等、新人の教育制度も手厚いと思います。

もし、三重の林業に少しでも興味があれば、木材利用推進班まで電話いただければ、疑問にお答えいたします。気軽にお問い合わせください。

### 年間スケジュールのイメージ

- 4月 木材関係団体との今年度事業の打ち合わせ
- 5月～8月 建築士向けセミナー 準備
- 9月～ 建築士向けセミナー 開催
- 11月～2月 来年度事業の計画作成  
木材利用関連イベントの開催
- 3月 今年度事業のとりまとめ

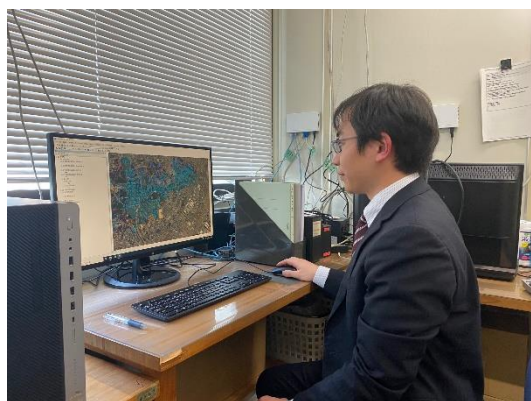
※年間通して 木づかい宣言PR活動、登録書授与式の開催  
県外への三重県産材PR活動

### ある日のスケジュール

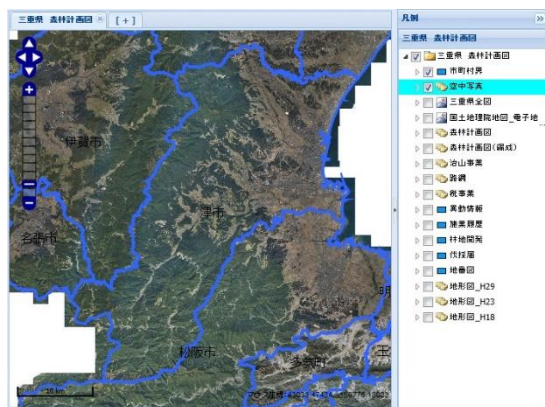
- 8：30 メールチェック
- 9：00 出張報告書 作成
- 10：00 木づかい宣言登録式 準備
- 11：00 木づかい宣言登録式 本番
- 13：00 木づかい宣言登録式  
報告書作成
- 15：00 建築士向けセミナー 準備
- 17：00 メールチェック
- 17：15 退庁

# ●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。



# 森林計画担当



農林水産部 森林・林業経営課  
森林計画班 技師 平田 聖

入庁 8 年目

## ○森林計画班の業務とは？

私が所属する森林計画班では、

- ・地域の特性に応じた森林整備及び保全の目標などを定めた地域森林計画の樹立や変更
- ・三重県の森林・林業に関する具体的な施策の中長期的な方向などを示した「三重の森林づくり基本計画」の策定と進捗管理
- ・クラウド型の森林GIS（森林クラウド）や航空レーザ測量等による森林資源情報の管理・整備などの業務を主に担当しています。

また、森林・林業分野内の企画調整（分野内のまとめ役）も森林計画班で担っています。

## ○現在の仕事のやりがい・苦勞は？

私が担当している森林クラウドや航空レーザ測量といった業務は、三重県では誰も担当したことのない業務です。そのため、周りの誰かが教えてくれるというものではなく、大量の資料を見比べながら日々手探りで業務を進める必要があります、非常に手間と時間がかかります。

そういった、大変な仕事ではありますが、同僚や市町の方、業者さんと議論しながら、少しでも役立つものになるようにと、自分なりに試行錯誤ができるところにやりがいを感じています。

## ○具体的にはどんな仕事をしてるの？

今年度、私は森林クラウドや航空レーザ測量に係る業務を主に担当しています。

三重県では、全国に先駆けて市町や林業事業者とも情報共有が可能な森林クラウドを導入しており、システムが最大限に活用できる体制の構築に取り組んでいるところです。

また、今年度から、森林の地形や資源の状況を詳細に把握し効率的な森林整備を推進するため、航空レーザ測量による森林情報の整備に取り組み始めたところであり、それらに関する業務を担当しています。

## ○受験を考えている人にメッセージ！

三重県林業職員は約150名で、森林・林業に関する幅広い業務を担っています。「森林を守ること、木材を活用することなど、森林・林業に関する仕事がしたい」という、同じ方向を向いた「仲間」が集まっており、とても働きやすい職場だと思います。

また、私が担当している航空レーザ測量のような、新たな技術にも携わることもできますので、ぜひ、試験を受験していただき、一緒に働きましょう！

## 年間スケジュールのイメージ

- 随時対応 森林法に関する問い合わせ  
森林に関する問い合わせ  
各種統計調査等の照会対応
- 5月 森林クラウド研修①
- 6月～7月 航空レーザ測量の設計・積算
- 8月～ 航空レーザ測量の発注業務
- 11～12月 次年度予算編成
- 2月 森林クラウド研修②
- 3月 航空レーザ測量の完成検査

## ある日のスケジュール

- 8：30 メールチェック
- 9：00 航空レーザ測量の委託業者との打ち合わせ
- 12：00 帰庁、昼食
- 13：00 班内打合せ
- 15：00 航空レーザ測量データの活用に関するワーキンググループ
- 17：30 退庁

# 三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。



# 林道災害担当



## 農林水産部 治山林道課 林道班 技師 小林 駿

入庁 6 年目

### ○林道災害復旧業務とは？

林道災害復旧の業務は、台風や大雨などによって被害を受けた林道を国の補助を受けて復旧する業務です。実際に林野庁の査定を受けたり工事を施工するのは林道管理者（市町等）であり自分たちではありませんが、工法の相談などの市町への指導であったり、林野庁との相談・協議を行ったり査定に随行をしたりと全体的なとりまとめやバックアップを行います。

### ○現在の仕事のやりがいは？

林道は専ら林業用の道路ですが、山間部に住む方にとっては大切な生活道路となっています。そのような道路が被災したとき、再度被災しないようにどういった復旧をすればよいか考える必要があります。また、緊急性が高いため素早い行動や判断が求められます。

各種基準や過去の例など、勉強すればするほど市町の助けとなれることがやりがいであり、頼ってもらえるような職員になれるよう日々奮闘しています。

### ○具体的にはどんな仕事をしてるの？

- ・具体的な仕事の流れは以下のような感じです。
- ①林道管理者（市町等）から県の地域機関を経由し、被害報告を提出
- ②被害報告をとりまとめ、林野庁に報告
- ③工法等の協議
- ④災害査定行程調整
- ⑤林野庁担当者の現地査定に随行
- ⑥林野庁と工法等変更協議

### ○受験を考えている人にメッセージ！

林業技師といっても林業の普及活動をする人もいたり県産材のPR活動をする人もいたり土木工事の担当をする人もいたり自然公園の担当をすることもあったりと技師の中では非常に多岐にわたった仕事に携われるチャンスのある職種です。きっと何か自分が楽しいと思える仕事に出会えると思います。ぜひ一緒に働きましょう！

その他、各種要領の改正や繰越事務等

### 年間スケジュールのイメージ

- 4月～5月 各種要領の改正  
担当者会議（県・国）
- 6月～7月 災害復旧事業残事業調査  
災害復旧事業研修会
- 6月頃～ 林道災害のとりまとめ、報告
- 8月頃～12月 災害査定  
次年度予算作成
- 1月～3月 繰越申請  
林道災害内示、交付申請

### ある日の スケジュール

- 8：30 メールチェック
- 9：00 被害報告のとりまとめ、報告
- 10：00 復旧工法の相談
- 11：00 林野庁担当者との工法相談
- 12：00 昼食
- 13：00 復旧工法の打合せ（現地）
- 16：00 査定行程打合せ
- 17：15 退庁

# ●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。

## 森林環境教育・木育担当



## 農林水産部 みどり共生推進課 みどり推進班 技師 高嶋 英理子

入庁3年目

### ○森林環境教育・木育業務とは？

近年、人々が日常生活の中で森林や自然、木にふれる機会が少なくなっています。そこで、森林のたらしみや大切さを伝えるために森林環境教育・木育を推進しています。

具体的には、小中学校などで、自然観察や木工体験などの出前授業を実施するほか、県内各地でイベントを開催し、子どもたちが森林や木にふれ、学ぶことのできる機会をつくります。

### ○現在の仕事のやりがいは？

森林環境教育・木育は近年注目されている分野です。三重県でも取組が始まったばかりで、効果的な方法を模索しているところです。

子どもたちを始め、多くの県民の方に森林の大切さを伝えていくためには、森林・林業関係者だけでなく、小さい子どもやその保護者、学校や保育所の先生など、さまざまな人と関わり、意見を聞き、協力しあいながら取組を進めていく必要があります。どういうニーズがあり、どういう支援が必要なのか、様々な人との関わりの中で、気づき、考え、取り組んでいくことにやりがいを感じています。

### ○具体的にはどんな仕事をしてるの？

森林環境教育・木育を県内各地で展開していくために具体的に以下のことに取り組んでいます。

#### ○森林環境教育の推進

- ・指導者（森のせんせい）の養成
- ・学校などでの出前授業（森のせんせいの派遣）
- ・森林や木について学べるイベントの開催

#### ○木育の推進

- ・誰もが木にふれることのできる木育体験施設の整備
- ・木工作家、教育関係者など、木育を広げていく人達のネットワークの構築
- ・三重県の木でできた遊具・おもちゃの開発

### ○受験を考えている人にメッセージ！

入庁前は、林業技師の仕事は林業の振興や治山工事など、山に入って直接森林と向き合う仕事ばかりだと思っていました。森林環境教育・木育もそうですが、県では森林を守り育てていくために様々な施策を行っています。

私はまだ3年目ですが、自分がやりたいことを周りに相談しながら形にしていく機会をもらっています。とてもやりがいがある楽しい仕事です。皆さんと一緒に働くことができるのを楽しみにしています！

### 年間スケジュールのイメージ

- 4月～9月  
・各学校に出前授業・イベントの案内  
・緑の募金街頭キャンペーン  
・木育拠点施設の整備にかかるデザイン案の検討
- 10月～12月  
・県民参加の植樹祭開催  
・みえ子ども森の学びサミット開催  
・森林環境教育副読本の作成・配布
- 1月～3月  
・木育拠点施設の工事発注準備  
・木育ステーション認定制度の創設

### ある日のスケジュール

- 8：30 メールチェック
- 9：00 班での情報共有・打合せ
- 10：00 打合せ資料の作成
- 12：00 昼食
- 13：00 イベントの開催に向けた関係者との打合せ
- 16：00 報告書の作成等デスクワーク
- 17：15 退庁

# ●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。



## 農林水産部 みどり共生推進課 自然公園班 技師 瀧川 史也

# 自然公園担当



入庁 8 年目

### ○自然公園業務とは？

自然公園法に基づき指定された自然公園において、以下の業務を行います。

- ・公園計画の策定、見直し、執行
- ・国定公園及び県立自然公園における許認可
- ・自然公園施設の整備・管理
- ・自然公園施設を活用したイベントの開催
- ・自然公園の普及・啓発活動

#### 三重県の自然公園

- ・国立公園（伊勢志摩、吉野熊野）
- ・国定公園（鈴鹿、室生赤目青山）
- ・県立自然公園

（水郷、香肌峡、奥伊勢宮川峡、伊勢の海、赤目一志峡）

### ○具体的にはどんな仕事をしてるの？

- ・自然公園施設の維持管理及びその委託事務  
自然公園内の施設のパトロールや点検・清掃を行っています。必要があれば、施設の補修等を行うこともあります。
- ・自然公園施設の整備計画の策定  
関係団体から要望の聞き取りを行い、必要性や活用性について打合せを行いながら、整備計画を策定します。また、策定された整備計画に基づき、工事を実施します。
- ・自然公園内でのイベント実施  
自然公園内において、イベントを開催するため、企画、広告、準備、実施業務を行います。イベント当日には、地域の団体と連携して様々な催しを実施しています。

### 年間スケジュールのイメージ

- 4月 自然公園施設の維持管理委託契約
- 7月 自然公園施設整備の要望照会
- 8月 自然公園内でのイベント実施

### ○現在の仕事のやりがいは？

法律に基づいて、自然公園内の開発行為を適正に審査し、自然保護に努めるだけでなく、地域の人々に自然保護の意識を持ってもらうために、工夫しながら自然と触れ合う機会を創出する事業を展開していくところにやりがいを感じます。

また、自然公園における業務には、林業関係者だけでなく、漁業、農業、建設業、観光業関係者など、非常に多岐にわたる職種の人との交流があります。こうした様々な職種の人とのやりとりの中で、林業の必要性や在り方を模索しながら、広い視野で今後の林業について考えることができるところにもやりがいを感じます。

### ○受験を考えている人にメッセージ！

公務員は一見地味な業務が多いように感じますが、事業の目的を理解し、考えながら仕事をすれば、非常に興味深い業務がたくさんあります。

何をしたいか悩んでいたり、特にやりたいことがない人でも、三重県や林業、自然に少しでも興味があるならば、ぜひ私と一緒に働いてみませんか。

### ある日のスケジュール

- 8:30 メールチェック
- 9:00 自然公園施設の現地調査
- 12:00 昼食
- 13:00 施設の維持管理に関する打合せ
- 15:00 会議
- 16:00 現地調査、打合せ内容の報告書作成
- 17:30 退庁

- 通年 維持管理に伴う現地調査
- 1 2月 自然公園施設整備計画策定・変更
- 3月 自然公園施設整備実績報告

# ●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。



# 森林・林業アカデミー担当



## 林業研究所 アカデミー運営課 主査 樋口 大輔

入庁13年目

### ○みえ森林・林業アカデミーとは？

新たな視点や多様な経営感覚により、森林・林業・木材産業のさらなる発展をめざすため、幅広い分野の全国のトップランナーを講師に迎えて講座を行っている学校です。

講座は、働いている方でも学びやすいように、それぞれのコースで、月に2日程度、年に2週間から3週間程度の日数で行っています。

世代を超えた多彩な人々が集まり、アカデミーを介して、講師や受講生のネットワークをつくりながら、楽しく熱心に学んでいただいています。

### ○具体的にはどんな仕事をしてるの？

アカデミーの企画・運営に関すること全般を行っており、カリキュラムの作成や講師の調整、講座の実施、支払い関係の事務のほか、講師と受講生のネットワークづくりなども行っています。

また、アカデミーについて、様々なメディアやイベントでPRを行ったり、団体や企業を訪問して説明を行ったりもします。

アカデミーをより良いものにするために、先進地に視察や研修に行く機会も多く、左の写真のように海外の学校で研修を受ける機会もありました。

### ○現在の仕事のやりがいは？

アカデミーはまだまだ始まったばかりの学校ですが、学長や特別顧問をはじめ、アドバイザー、講師など、多くの方に関わっていただきながら、一緒にアカデミーを創り上げていくことにやりがいを感じています。

その中で、事務局として、様々な企画を行い、関係者の合意形成をはかることは、大変でもありますが、やはり面白く、やりがいを感じます。

「アカデミーで学んだことが役に立った」と言ってもらえると、とてもうれしいです！

### ○受験を考えている人にメッセージ！

三重県は、森林資源が豊富な県ですが、その利用や保全には様々な課題がみられます。

そのような課題に、これまでにない新しい発想や様々なアイデアを持って、積極的にチャレンジしていただけたらと思います。

林業職員は、林業・木材産業の振興や、治山・林道といった基盤整備、自然環境の保全、森林環境教育・木育の推進など、幅広い分野の業務に携わりますが、その中で、様々なことにチャレンジできる機会があります。

### 年間スケジュールのイメージ

- 4月 アカデミー入講式
- 通年 アカデミー講座の企画・調整・運営  
アカデミーのPR、環境整備
- 7月 アカデミー成果発表会・交流会
- 9月～ 次年度カリキュラムの検討
- 12月 次年度講師・日程調整  
受講生募集要項の策定
- 1月～2月 受講生の募集
- 3月 受講生の選考・決定

### ある日の スケジュール

- 8：00 講座会場設営・受付
- 8：50 オリエンテーション
- 9：00 講座開始・進行
- 12：00 講師とのランチミーティング
- 13：00 講座進行
- 16：00 講座ふりかえり・  
ファシリテーション
- 17：00 講座終了・片付け
- 18：30 講師・受講生との意見交換会

# ●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。



## 研究担当



## 林業研究所 森林環境研究課 主任研究員 山中 豪

入庁8年目

### ○林業研究所とは？

種苗、造林、保護、利用、木材など、山林に関する最初から最後まで、多岐に渡る分野の研究をしています。このような研究機関は各県にありますが、その位置付けは各県で異なります。三重県林業研究所で働くためには、三重県職員として採用される必要があります。多くは、通常の林業職員として、治山工事や造林補助事業等に携わった後、研究所へ異動します。つまり、現場の経験を持ったうえで、研究に取り組むわけです。また、異動により、研究業務を離れることもあります。その時は、研究成果の普及を行うチャンスとも言えます。

### ○現在の仕事のやりがいは？

異動により研究員になったり研究員でなくなったりしますが、研究員でいるときは、その自覚を持ち、未解明の事象を解明していく熱意と意地を持たなければなりません。特に、自分が担当する分野では、県内で第一人者となるよう努めなければなりません。そういった点では、苦しみや悩みは多いですが、やはり、解らなかつたことが解っていくごとに、喜びを感じます。活躍する研究者の方々と会う機会も多くあります。彼らと対等に議論することは容易ではありませんが、議論の度、強い刺激を受けます。退屈することはまずありません。

### ○具体的にはどんな仕事をしてるの？

私の担当は種苗や育種に関することです。具体的には、品質の良い苗を作る手法、効率的に育苗する手法、種を省力的に生産する手法などを開発しています。特に種は、一粒ごとに色・形・中身・さらには遺伝子が異なります。交配や種子成熟の過程での人為的干渉が、どのように種子の品質として現れるのか、非常に興味深いところです。実務としては、炎天下のビニールハウス内での育苗作業や枝が生い茂る採種園での採種作業、一日中続く剪定など、まさに労働者です。しかし、樹木の生理とは、実作業を通してのみ理解することができる部分も多いのではないかと感じています。

### ○受験を考えている人にメッセージ！

とにかく受験してください。林学系の学科の方は特に受験してください。林業分野で入庁した場合、大学で学んだ林学の知識がストレートに役に立ちます。土壌でも、遺伝でも、木材でも、得意な分野を持っていれば、必ずそれが大きな武器になります。隠さず言うと、今倍率がとても低いです。無勉でも合格のチャンスがあります。何度でも言います。とにかく受験してください。

新卒じゃなくても大歓迎です。私も転職してきました。全国転勤もないし、家庭も円満です。県を受けない理由はありません。さあ、受験してください。

### 年間スケジュールのイメージ

- 4月～ 5月 必要物品の購入、苗の仕込み、計測
- 6月～ 9月 計測、苗畑や採種園の管理、種子試験  
各種成果発表、データ解析、草刈り
- 10月～ 11月 採種、計測、データ解析、学会発表  
次年度試験計画
- 12月～ 1月 種子精選、種子試験、論文執筆
- 2月～ 3月 学会発表、人工交配、採種園剪定  
次年度試験準備

### ある日の スケジュール

- 8：30 計測
- 12：00 昼食
- 13：00 計測
- 15：00 片付け、データ入力
- 17：30 退庁

# ●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。



## 研究担当



## 入庁7年目

## 林業研究所 林産研究課 主任研究員 井上 伸

### ○林業研究所ではどんな研究をしているの？

私が所属する林業研究所・林産研究課では、主に、木質資源の有効活用と需要拡大を図るための木材加工技術の開発、近年、被害が拡大しているニホンジカによる森林被害の防除技術の開発、食用きのこの人工栽培に関する研究などを行っています。

また、研究の他には、県内企業や県民の方等からの依頼試験や技術相談などを行っています。

### ○具体的にはどんな仕事をしているの？

普段目にすることがない、新しいきのこの栽培技術の開発を行っています。スーパーなどで販売されているきのこの多くは、大規模な施設を用いて大量生産されていますが、県内のきのこ生産者は、中小規模の施設しか持たず、コスト削減にも限界があることから、厳しい経営状況にあります。そのため、大量生産品と形状や風味などで差別化が可能で、商品性の高い、新しいきのこの安定生産技術の開発を行っています。また、少額の投資で作製することのできる簡易施設や空いている既存施設を利用し、きのこ栽培時のコストを削減することが可能な栽培技術の開発などにも取り組んでいます。

### ○現在の仕事のやりがいは？

誰もわからない、やったことのないことに挑戦できることです。うまくいかないことも多いですが、食品としての機能性が高く、まだ市場に流通していない美味しいきのこの栽培技術を確立することによって、生産者の利益向上、さらには県民の方々の健康や日々の楽しみに貢献していきたいと考えています。

また、まだまだ生産者の方から教わることも多いですが、生産現場で技術指導などを行い、問題が改善されたとの報告を受けた時は、とてもやりがいを感じます。

### ○受験を考えている人にメッセージ！

森林・林業の行政分野は、災害に強い森林づくりや自然公園の整備、特用林産物の振興、木育など多岐に渡っています。そのため、幅広い知識が必要ですが、経験豊富で頼れる先輩や上司が多く、チームで仕事をする風土があるため、相談しながら仕事を進めていくことができます。

また、三重県では、平成31年4月にみえ森林・林業アカデミーが開講するなど新しい取組が積極的に進められており、新しく創り上げていく仕事に携わることも可能です。

ぜひ、一緒に仕事をしましょう。

## 年間スケジュールのイメージ

- 4月～ きこの栽培試験
- 9月・10月 学会発表
- 12月～2月 シイタケ原木の菌打ち体験などの講師
- 2月～3月 研究成果マニュアルなどの公表
- 随時、地域の公民館活動などの場で講義  
生産者からの技術相談

## ある日の スケジュール

- 8：30 きこの栽培培地作製
- 12：00 昼食
- 13：00 きこの収穫・測定・検証
- 16：00 生産者からの相談対応
- 17：15 退庁



# ●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。

## 治山担当



入庁10年目

## 伊賀農林事務所 森林・林業室 森林保全課 主任 星野 鉄郎

### ○治山事業とは？

地球上では、降雨や積雪による侵食や、地盤の風化などにより、僅かずつではありますが絶えず地形が変化しています。この変化により山地の土砂が流出したり、落石が発生することとなり、山地斜面の崩壊につながることもあります。

治山事業とは、これら風化・侵食による山地の変化を事前に予防する、あるいはすでに崩壊した箇所を復旧することにより、山地を保全し、人命や財産を保護する事業です。これを読んでいるあなたも気づかないうちに治山事業により生活が守られているはずです。

### ○具体的にはどんな仕事をしてるの？

地域の自治会などから市町を通じて、事業の要望が提出されます。その場所を自身で確認し、どのような工法で対処すればよいか「判断」をします。工法が決まれば、必要となる予算を「積算」し、予算管理の担当者に工事の必要性を「説明」することで、予算を確保します。

工事が始まれば、完成に向けて施工業者と工事の支障になる事象について「協議」し、対策を「指示」します。また、工事の節目において設計書通りに出来ているか「検査」します。

### ○現在の仕事のやりがいは？

モノを作り上げていく仕事なので、完成後もモノが残り続けることとなります。自分が携わった仕事が形として残るのはやはりうれしいものです。また、荒廃していた場所を復旧し、数年後現地を確認したときに木がしっかり育っていると、仕事してよかったなと思います。

外に出て仕事をする機会が多いので、体を動かしながら仕事をしたい人におすすめです。ガイドブックには載っていないような景色のいい場所を見つけることも多いです。(流行りの“映え”ですね)

### ○受験を考えている人にメッセージ！

- Q. 希望通りの業務ができますか。  
A. 最初はいろいろな業務を経験することになると思います。自身の隠れた才能を開花させてください。  
Q. 興味はあるけれど、専門知識はあまりないですが、大丈夫でしょうか。  
A. 大学で林業を専攻していない人もいます。知識は働きながら覚えればいいのです。優しい先輩と、怖い先輩がやさしく教えてくれます。  
Q. 林業にあまり興味がないです。  
A. 三重県を舞台にした映画「WOODJOB!」を見て、林業の魅力に目覚めてください！

### 年間スケジュールのイメージ

- 4月～5月 治山工事の測量・設計委託業務の設計・積算・監督
- 6月～7月 治山工事の設計・積算
- 8月～ 治山工事の監督業務
- 11月～2月 治山事業の来年度計画箇所の測量・計画作成
- 2月～3月 治山工事の完成検査

### ある日のスケジュール

- 8：30 メールチェック
- 9：00 事業計画箇所の現地測量
- 12：00 帰庁、昼食
- 13：00 事業計画書・設計書等の作成
- 15：00 工事関係業者との打合せ
- 17：30 退庁

# 三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。

## 治山担当



四日市農林事務所 森林・林業室  
森林保全課 技師 岡本 榛名

入庁2年目

### ○どんな仕事をしているの？

私が所属している森林保全課は主に、水源のかん養や土砂災害の防止、生物多様性の保全等の「森林の公益的機能」が発揮されるよう治山事業を行っています。

私は治山工事の設計や現場監督をしています。工事は設計基準に沿って、現場状況にあった最も経済的な工法を考えて設計します。工事が始まれば、工事が適切に施工されているか現場や受注者から提出される書類を確認します。

また、次年度の事業計画箇所を測量し、事業計画書の作成も行います。

### ○現在の仕事のやりがいは？

自分が担当した工事が完成したときはいつもほっとしますし、自分が設計や監督をしたものが実際に形になることがうれしいです。

また、治山事業で整備された施設は、山腹斜面や溪流等を安定させ、長い時間をかけて多面的機能が發揮される森林を造成していきます。業務の中で、過去に施工した治山施設の点検をしており、しっかりと目的を達成している施設を見る機会があります。短期間で結果がみえないこともありますが、今の仕事が健全な森林を作っていくことにつながることにやりがいを感じます。

### ○職場の雰囲気は？

四日市農林事務所の森林・林業室には2つの課があり、13人の職員が働いています。とても明るく元気な人や、穏やかで優しい人、真面目でこつこつ仕事をする人など、個性豊かな職場です。

普段は落ち着いた雰囲気です、それぞれ集中して自分の仕事に取り組んでいますが、「報・連・相」を大切にしているので、忙しいときは声を掛け合ってサポートしたり、何か困ったことがあれば、すぐに相談できる職場です。

### ○受験を考えている人にメッセージ！

林業技師の仕事は、山地災害対策の推進や、林業の振興など多岐にわたり、幅広い知識と視野が必要になります。

今の私の仕事は、学生の時に専攻した分野とは全く違い、わからないことはばかりです。

しかし、上司や先輩がわからないことを教えてくれたり、一緒に考えてくれたり、サポートしてくれます。

これから入庁されるみなさんとも一緒にたくさんのことを学び、考え、成長していきたいです。

### 年間スケジュールのイメージ

- 4月～5月 治山工事の測量・設計委託業務の設計・積算・監督
- 6月～7月 治山工事の設計・積算
- 8月～ 治山工事の監督業務
- 11月＝2月 治山事業の来年度計画箇所の測量・計画作成
- 2月～3月 治山工事の完成検査

### ある日のスケジュール

- 8：30 メールチェック
- 9：00 事業計画箇所の現地測量
- 12：00 帰庁、昼食
- 13：00 事業計画書・設計書等の作成
- 15：00 工事関係業者との打合せ
- 17：30 退庁

# ●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。

# 林道担当



津農林水産事務所 森林・林業室  
森林保全課 主任 大西 達也

入庁12年目

## ○林道を作る目的は？

林道を整備することで

- ・森林へのアクセスが向上
- ・木材の輸送効率が向上

効率的な木材生産等が可能となり

- ・木材生産量が増加
- ・森林整備が促進
- ・林業の振興
- ・森林の持つ多面的機能の発揮

## ○現在の仕事のやりがいは？

林道工事は、工事区間が長いので、地形や地質等の条件が少しずつ変わっていきます。現場を確認して、その場にふさわしい工種・工法を採用し、各種基準等や経験に基づく判断が求められます。

ベテランの先輩職員のように、知識と経験に裏付けされた的確な指示が現場で出せるようになりたいと思っています。完成したものが災害を受けても壊れず、現場でうまく機能していることを確認できた時はとても気持ちがいいです。

## ○県営林道ができるまで

- ①測量設計
- ↓
- ②支障木伐採
- ↓
- ③丁張設置
- ↓
- ④切土・盛土
- ↓
- ⑤構造物・舗装
- ↓
- ⑥完成



※設計・積算・監督業務が主な仕事です。

## ○受験を考えている人にメッセージ！

▶森林・林業分野の業務内容は幅広いです。いいな！と思うものがあれば、直感で飛び込んでみてください。やってみないとわかりません。私が面倒をみます。県に入ってからでも、本人の意思さえあれば別の分野の何にでもなれます。自由です。

▶労働条件の話ですが、私は娘の保育園への送迎のため「早出遅出勤務」を利用しています。子供が小さい時期は熱を出したりして休暇を取ることが多くあり、「年休」以外にも「家族看護休暇」を取得することができます。三重県は、管理職が積極的に子育てや家族等の状況に配慮しており、各種制度をしっかりと利用できているので、比較的働きやすい職場環境だと思います。

## 年間スケジュールのイメージ

- 4月～5月 測量・設計の設計・積算・監督、国への協議
- 6月～8月 林道工事の設計・積算、研究発表
- 8月～ 林道工事の監督業務
- 11月 来年度計画作成
- 12月 来年度計画県庁ヒアリング
- 1月 会計検査（2年に1回程度）
- 2月～3月 林道工事の清算業務、完成検査等

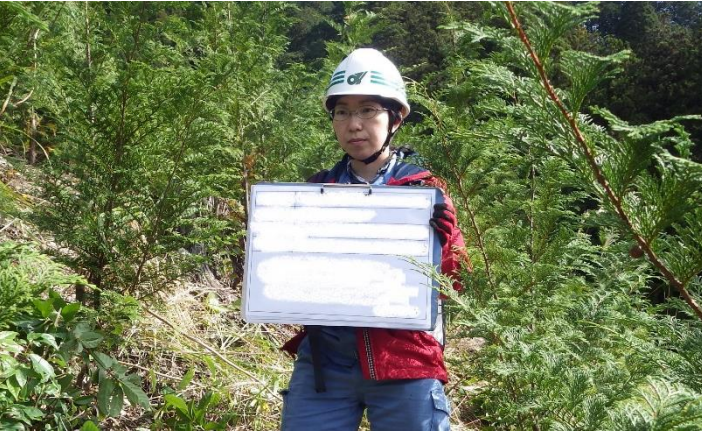
## ある日のスケジュール

- 8：30 メールチェック
- 9：00 工事現場の状況確認
- 12：00 昼食
- 13：00 変更設計書・変更図面の作成
- 15：00 工事受注者打合せ
- 16：00 市町担当者打合せ
- 17：15 退庁

# ●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。

## 造林担当



入庁7年目

## 松阪農林事務所 森林・林業室 林業振興課 技師 小林 花菜子

### ○造林事業とは？

造林事業とは、一言でいえば森林で行った施業に対して補助金の支払いをする事業です。

森林の多面的機能の維持・増進や、持続的な森林経営の促進、安定的な木材の供給、自然条件等で経営が困難な森林の保全等を目的に、植栽や間伐等の森林整備への支援を行っています。

対象となる施業は、植栽、下刈り、枝打ち、間伐、森林作業道、獣害防護柵設置などの森林施業で、原則として森林経営計画に基づき施業を行ってもらう必要があります。

### ○具体的にはどんな仕事をしてるの？

森林組合や林業を行っている事業体から、施業が終わると造林補助金の交付申請書が提出されます。その申請書の内容について検査を行い、合格したところに対して補助金の支払いを行います。

検査には現地検査と書類検査があり、現地検査では施業をした現場に行き、植栽本数や、間伐率、作業道の道幅などが申請どおり適切に行われているか確認します。書類検査では、森林経営計画に基づく施業であるか、申請に必要な書類や、現場の作業記録などの書類が適切に整理されているかなどを確認します。

### ○現在の仕事のやりがいは？

造林事業は「林業」と密接にかかわる仕事になるため、植栽から間伐まで、そして主伐を行った場所にまた植栽をするという林業の一連の流れを見ることができるといのが、この仕事の楽しさの一つであると思います。

施業する事業体によってこの山をどんな山にするかという計画が違いますし、山や地域によって同じ樹木でも育ち方が違うこともあります。この山がどんな山になっていくのか？そう考えながら、その山づくりの一端に関わることができることにとてもやりがいを感じます。

### ○受験を考えている人にメッセージ！

山や森林の仕事といえば真っ先に思いつくのはやはり「林業」ではないでしょうか？造林事業はまさに「林業」に関わる仕事といえます。

実際に山に行き森林整備の現場を見ることができ、施業をした山がどんなふうになっていくのかが実感できます。

山の仕事に関わりたいと思っている人や、森林整備や山づくりに興味がある人は、行政という立場から森林整備を支援してみるのもやりがいがあるかもしれません！

### 年間スケジュールのイメージ

- 4月 事業体への内示
- 6月 会議・打合せ
- 7月～8月 前年度の実績まとめ
- 9月～11月 調査、次年度要望取りまとめ
- 年間通して
  - ・ 事業体からの交付申請
  - ・ 完了検査の実施
  - ・ 交付決定および額の確定

※4月や12月は申請が集中するため、2か月程かけて検査を実施することもあります。

### ある日のスケジュール

- 8:30 事務所出発
- 9:30 造林検査（現地検査）  
現地2～3か所
- 12:00 現地にて昼食
- 13:00 造林検査（現地検査）  
現地1か所
- 14:00 造林検査（書類検査）  
事業体の事務所にて実施
- 17:00 帰庁
- 17:30 退庁

# 三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。



# 林業普及担当



## 伊勢農林水産事務所 森林・林業室 林業振興課 主幹 小倉 良介

### 入庁22年目

#### ○林業普及業務とは？

森林の有する多面的機能の持続的な発揮と、林業の持続的かつ健全な発展のため、林業事業者や森林所有者等に対して、地域の実情に応じた以下のような活動を行っています。

- 1) 高度な森林施業技術の指導及び情報提供
- 2) 林業経営者等の育成・確保
- 3) 地域全体での森林整備の促進
- 4) 地域全体での木材利用の促進
- 5) 森林ボランティアや学校教育における森林環境教育の指導者等の育成 等

#### ○現在の仕事で嬉しかったことは？

ある地区から「自分たちが住む地域の森林は自分たちの手で整備していきたい」と相談があり、その地区の方々にチェーンソーの使い方や森林整備の研修を何度も開催しました。関係者との調整や研修の準備は大変でしたが、研修をするたびに森林に興味を持つ人が増えていき、少しずつ森林の整備が進んでいくのを見たときは、それを忘れるぐらいにやってよかったと嬉しく感じました。

直接自分が森林整備をしない分、皆さんが安全に森林整備をしていけるようサポートできることが、この仕事でやりがいを感じる時です。

#### ○具体的にはどんな仕事をしてるの？

市町と協力しながら、地域の森林整備を担っている森林組合や林業事業者、意欲ある森林所有者等と連携して、森林施業が着実に実施されるよう新たな技術の情報提供や様々な相談を受けたりしています。

また、新たな就業者や高校生、林業に関心がある人に対して、各種研修会などを企画するほか、自ら講師となって、森林・林業に関する知識や技術を教えています。

木材を生産する川上と木材を消費する製材所や建築業等の川下との連携・調整、情報共有、合意形成に向けた取組も行っています。

#### ○受験を考えている人にメッセージ！

林業普及業務は多くの林業事業者の従業員や森林所有者と繋がりを持ちながら仕事を進めていきますが、その中で、今まで知らなかったことを逆に教えてもらうことが多くあります。

採用試験のために林業の専門的な知識を学ぶことも大切ですが、就職してからの方が森林や林業について覚えることが多いので、常に知識や技術を吸収しようとする向上心を持ち続けることが仕事を楽しく、また有意な結果を得られる秘訣だと思います。

若い皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

#### 年間スケジュールのイメージ

- 4月 普及指導事業の年間活動計画の作成
- 4月～ 各種研修・講習の受講、現地見学会等への参加
- 5月～ 年間活動計画に沿った普及指導事業
- 9月～11月 各種研修・講習の講師
- 3月 林業普及活動発表会

#### ある日のスケジュール

- 8:30 メールチェック
- 9:30 森林施業地確認・調査
- 12:00 昼食
- 13:00 林業事業者との打合せ
- 14:30 帰庁  
現地調査結果のとりまとめ
- 16:30 報告書作成
- 17:15 退庁